

第13期 受講企業の感想をご紹介します。

株式会社 IPS PLIERS

(新潟県見附市)

受講後、社員は驚くほど凛々しく変化。経営者はこの研修の価値を見てほしい



代表取締役
うちやま こうよう
内山 航洋さん

当社は1940年に創業した国内唯一のプライヤー専門メーカーです。プロ用からホビー用、農業用など、さまざまなプライヤーがありますが、そのラインアップはお客様の声によって日々変化しています。

例えば2023年に発売した「ソフトタッチネオ」シリーズは、お客様の要望に応え、くわえ部に新開発樹脂を採用したプライヤーです。つかむものを傷つけない従来のものに、グリップ力を高めてより滑りにくい機能を付加しました。プライヤー専門だからこそお客様の声を素早く反映させ、より深化・進化させたものづくりができるのです。

私は、将来的に製造業は縮小傾向にあると考えています。しかし、そんな状況下でもこの会社をNo.1にしたい。そのためには、社員が社長の指示だけをこなすのではなく、自ら考えて自ら動く“自走型”の組織にしなければいけません。

だから今回、小出課長が三条校のパンフレットを持ってきて「この研修を受けたい」と志願した時はうれしかったです。私の考える自走型組織を象徴する出来事でした。

研修を終えた彼の変化は驚くほどです。生産管理の考え方が洗練されたし、答えの導き方がとても早くなりました。それが自信につながり、顔つきも本当に凛々しくなりました。

「工場管理者養成コース」は、時間的にも予算的にも大きなボリュームの研修ですが、価格ではなくその価値を見るべきです。個人のメリット、会社のメリットは価格以上のものがあります。経営者はこの研修の価値を見定めて、価値ある人にしっかり取り組んでもらえるよう勧めるべきだと思っています。

自分の研修受講で社内全体が活性化。工場改革の道筋が見えてきました



製造部 課長
こい で けん と
小出 健人さん

私は入社10年目で、現在は受注から製造指示、出荷までのスケジュール調整など、生産管理全般の仕事に従事しています。工場で働く多くの社員にさまざまな指示を与える仕事なので、日々、人とのコミュニケーションの取り方に注意しています。なんでも頭ごなしに命令口調でやっても組織は回りません。

今回、「工場管理者養成コース」の受講を社長に志願したのは、以前に三条校の短期研修を受講したことがきっかけです。その時に5Sの基本的な考え方を学び、それをもっと深く学んでみたいと思っていました。

5Sを極めるとどうなるのだろう。情報も含め、工場にあるもの全てを整理整頓すれば、効率が上がって皆の仕事がもっと楽になるのではないか。そんな単純な好奇心がありました。実は、当社の工場でも元々5Sをやっていましたが、いつしかその意識が薄れ、清掃の時間はあっても整理整頓の時間はなくなっていたのです。それをもう一度立て直したいと考え、研修に臨むことにしました。

今回の研修では、5Sの深い知識に加えてQ・C・Dなど、今まで知らなかったこともたくさん学ぶことができました。半年間という長い研修のため、受講した同期の方たちとゼミナール活動や交流会などを通して、自社の課題について相談できるほど仲間意識を得られたほか、課題を共有しあうことで一体感が強まりました。学んだ内容をもとに同期生と都度相談を行うことで、工場改革の道筋が見えてきたような気がしています。

研修後、早速5S委員会を立ち上げ、協力的な社員を巻き込みながら改革に手をつけたところです。私がこの研修に参加したことで、社内全体が活性化してきているようにも感じています。これからもっともっと大きなムーブメントにして、働きやすく、生産性の高い工場にしていきたいと考えています。